

場、社会の3つの視点からご紹介しています。また「アクションプラン」に賛同していただける企業、団体、個人を募り、生理の不調に悩む方が減るようなアクションの輪を広げて行くことに寄与したいと考えています。

あすか製薬、バイエル薬品、富士製薬工業は本プロジェクトへのサポートを通じて、今後も日経BP総研とともに信頼できる情報と支援策について広く情報発信していきます。

◆生理快適プロジェクトウェブサイトは、以下をご覧ください。

<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/DRS/20/seirikaiteki/>

【10代の娘とその親のための「生理の悩みと対策」オンライン・トークセミナー概要】

- 開催日時:2021年10月20日(水)20:00~21:15(開場時間:19:45~)
- 募集人数:250名を予定 *定員になり次第締め切らせていただきます。
- 参加対象:10代の娘を持つ親とその子など(親子おそろいでなくても参加登録可能)
- 参加方法:以下のURLにアクセスいただき、事前登録をお願い申し上げます。

ご登録いただくとZoomミーティングの招待URLが発行されます。

<https://project.nikkeibp.co.jp/event/sey211020/>

■ プログラム:

➤ 第1部

「月経に振り回されずに生きる

思春期から始める月経マネジメントのススメ」

アトラスレディースクリニック院長 塚田訓子先生(右写真)



➤ 第2部

体験談(事前収録)

「生理痛を我慢していたあのころ。選手としてどう生理と付き合ってきたか」

女子サッカー 川澄奈穂美(かわすみ なほみ)選手(右写真)



➤ 第3部

パネルトーク

「娘を持つ親として みんなと考えたい・知りたい 生理のこと」

<パネリスト>

マキシマム ザ ホルモン ナヲさん(右写真)

産婦人科医 塚田訓子先生

<モデレーター>

黒住紗織 日経 BP 総合研究所 上席研究員



- 主催:日経 BP 総合研究所(生理快適プロジェクト事務局)
- 協賛:あすか製薬株式会社/バイエル薬品株式会社/富士製薬工業株式会社(50音順)



あすか製薬は1920年の創立以来、内科・産婦人科・泌尿器科領域に注力するスペシャリティファーマとして、同領域のヘルスケアに関連する製品を提供し、現在もそのラインアップの充実に努めております。詳細については、<https://www.aska-pharma.co.jp>をご覧ください。



バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルスの各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器・腎臓領域、オンコロジー領域、眼科領域、婦人科領域、血液領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では、プレナタルサプリメントや美容サプリメント、膣カンジダ抗真菌剤に注力しています。同社は、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細はwww.pharma.bayer.jpをご参照ください。



富士製薬工業株式会社は、1965年の設立以来、「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」「富士製薬工業の成長はわたしたちの成長に正比例する」を経営理念とし、人々の痛みや障害の改善・克服に役立つ医薬品の開発、製造、販売を通して社会に貢献すべく事業を展開しています。重点分野である女性医療領域では、不妊症をはじめ、月経困難症、子宮内膜症、避妊、更年期障害などの女性特有の疾患の新薬およびジェネリック医薬品を数多く取り扱っています。豊富な品ぞろえで幅広い年代の女性の健康をサポートし、女性医療のリーディングカンパニーを目指しています。詳細につきましては、富士製薬工業ウェブサイト <https://www.fujipharma.jp/> をご参照ください。